# 「はばたけ世界へ！国際ネットワーク応援プログラム」 申請書

【記載上の注意事項】

1. 以下の1.～12.の内容をすべて記入してください。

2.　文字のサイズは10.5ポイント以上としてください。

## 1. 基本情報

応募者氏名：

所属機関・部局：

職名：

メールアドレス：

電話番号：

## 2. 課題名

## 3. 研究グループ

**【コアメンバー】（日本側2名以上、海外側2名以上）**

＜日本側＞　（氏名／所属機関・部局／職名）

代表者：

メンバー：

＜海外側＞（氏名／所属機関・部局／職名）

代表者：

メンバー：

**【若手研究者（大学院生などを含む）】（日本側1名以上、海外側1名以上）**

＜日本側＞　（氏名／所属機関・部局／職名・学年）

(1)

(2)

＜海外側＞（氏名／所属機関・部局／職名・学年）

(1)

(2)

## 4. 国際共同研究で期待される効果（例：共同研究によるシナジー、若手研究者の育成等） 【1頁以内】

* 国際共同研究によるシナジー、若手研究者の育成、研究ネットワークの強化など、期待される効果を明確に記述してください。
* 共同研究の実施によって得られる具体的な成果や波及効果を説明してください。

## 5. 基礎研究力向上への貢献および期待される成果 【1頁以内】

* 国際共同研究を通じて基礎研究力向上にどのように貢献するかを具体的に記述してください。
* 研究の成果が社会・経済の変革にどの様なイノベーションをもたらし得るかを説明してください。

## 6. 研究の目的と重要性 【1頁以内】

* 研究の目的とその意義を明確に記述し、どのような課題を解決するのかを説明してください。
* 提案する研究がどの様な点で独自性（新規性、優位性等）や挑戦性を有するのかを説明してください。

## 7. 国際研究グループの連携体制・研究環境 【1頁以内】

* 目的を達成するための研究チームの構成、役割分担、研究環境の整備状況を説明してください。
* 日本側・海外側の研究者の強みや役割を明確にし、連携の意義を説明してください。

## 8. 国際共同研究の方法および計画（図表の使用可） 【1頁以内】

* 研究を進めるための具体的な方法やその妥当性・合理性、スケジュール、マイルストーンとその達成基準などを説明してください。

## 9. 国際ダブルメンター制度の活用方法

## （日本側1名、海外側1名を記載、国際ネットワークの構築、海外ファンドの獲得、国際的な産学連携の促進等、質の高い研究成果の創出に向けた戦略的支援）

**※ 国際共同研究を推進するために、各メンターにどの様な助言や支援をして頂きたいのかを具体的に記述してください。具体的なメンターが未定の場合は、氏名、所属機関、職名の記載は不要です。その代わり、メンターの専門分野、期待する助言や支援を記入してください。その内容を基に、採択後、事務局が適切なメンターを選出し協力を依頼します。**

* **日本側メンター**：○○（氏名・所属機関・部局・職名・専門分野・期待する助言や支援）
* **海外側メンター**：○○（氏名・所属機関・部局・職名・専門分野・期待する助言や支援）

## 10. 利益相反の申告

**応募者と機関の利益相反マネジメントについて**

　応募者の誰かが何等かの形で関わっている或いは個人的利益を得ている機関に属する研究者が参加する研究課題を採択して寄付金を配分すると、利益相反に相当する場合があります。その様な疑義を避け、透明性と公正性を保つため、その様なケースに該当する研究者が参加する場合は、その旨及び必要性や妥当性、公正性を記載してください。必要性や妥当性、公正性について、書面・面接選考時に、審査員と研究計画に関連する分野の部局の利益相反委員会又は研究倫理審査委員会が検討し、採択された場合には、必要な利益相反マネジメントの対応を行って頂きます。

応募者の誰かが何等かの形で関わっている或いは個人的利益を得ている機関とは、次の(1) ～(8)の様なケースです。該当の有・無を記載の上、該当する場合は、その様なケースに該当する研究者が参加する必要性や妥当性、公正性を記載してください。

(1) 応募者の誰かの研究成果を基に設立した機関　　　　　　　　　　　　該当の有無：

(2) 応募者の誰かが兼業している機関　　　　　　　　　　　　　　　　　該当の有無：

(3) 応募者の誰かが役員である機関　　　　　　　　　　　　　　　　　　該当の有無：

(4) 応募者の誰かが株式を保有している機関　　　　　　　　　　　　　　該当の有無：

(5) 応募者の誰かが研究成果の実施料や売却による収入を得ている機関　　該当の有無：

(6) 応募者の誰かが給与（計100万円以上）を得ている機関　　　　　　　該当の有無：

(7) 応募者の誰かが法人の管理下にない金銭、物品、役務等であって　　　該当の有無：

 研究に関連するもの又は研究の信頼性を損なうおそれのあるもの

 （補助金・助成金等のすべての研究資金、奨励金、賞金、寄附金、

 出張費、講演料、執筆料、物品、役務）を得ている機関

 (8) 上記以外でも利益相反があると思われる場合　　　　　　　　　　　該当の有無：

上記(1) ～(8)のいずれかに該当する場合は、その様なケースに該当する研究者が参加する必要性や妥当性、公正性を以下に記載してください。

## 11. 予算計画

|  |  |
| --- | --- |
| **予算項目（名称、仕様、数量など）** | **金額（日本円）** |
| 　 | **a.**設備備品費ならびに消耗品費 |  |
| 　 |  |
| 　 |  |
|  |  |
|  |  |
| 　 |  |
| 　 |  |
| **b.** 旅費 |  |
| 　 |  |
| 　 |  |
|  |  |
| 　 |  |
| **c.**人件費・謝金 |  |
| 　 |  |
|  |  |
|  |  |
| 　 |  |
| **d.** その他 |  |
| 　 |  |
|  |  |
|  |  |
| 　 |  |
| **合計** |  |

## 12. 他の資金制度での申請及び採択状況

　今回の応募課題と関連する、他資金制度での申請及び採択状況についてご申告ください。研究課題名毎に番号を付し、下記の項目を記載したリストを作成してください。

* 研究課題名（申請・採択時の研究課題名）
* 資金制度の名称（申請または採択を受けた資金制度・助成金の名称）
* 申請年度・採択年度（申請または採択を受けた年度）
* 研究期間（資金提供を受ける期間）
* 研究費総額（採択された場合の研究費総額）
* 本研究課題との関連性（本応募課題との関係性や重複部分の有無）

(1)

(2)

(3)